

営農ウィークリーNEWS

平成 30 年作付け水稲圃場に、土壤改良資材「とれ太郎」を散布しましょう!!



「とれ太郎」は、根張りの向上や、倒伏軽減などに効果がある、ケイ酸を30%含んだ土壤改良資材です。

また、リン酸や苦土成分をバランスよく含んでいるので、水稲の収量や品質向上が期待できます。

今年も、早生品種において気候の影響による高温障害（未熟粒等）や、台風の影響等で倒伏した圃場が多く見受けられました。

「とれ太郎」を散布することで、根張りが良くなり倒伏の防止、高温障害の軽減が期待できます。

また、流亡しにくいケイ酸を利用しているため、秋散布（11～12月）・春散布（3～4月）ができます。

来年の作付けに向け、耕起（荒起こし）時の散布をおススメします。

なお、散布量は、80～100kg/10aとなっております。

稲わらの腐熟促進には・・・「石灰窒素」の散布がおススメです！

「石灰窒素」は、肥料としての利用だけでなく、土づくりを目的とした利用もできます。刈取り後の水田圃場に散布することで、稲わらの腐熟促進やジャンボタニシの防除効果が期待できます。

稲わらが、翌年の作付け時まで圃場内に残ることで、ガスが発生し水稲の生育に影響を与える被害が、近年多く発生しています。稲わらの腐熟を促進させる場合は稲刈り後、11～12月頃に10～20kg/10aに散布をお願い致します。



葉ぼたんの出荷が始まりました

TAC information



洛南・向島支店管内で栽培されている、「葉ぼたん」と「おどり葉ぼたん」の出荷が始まりました。

「葉ぼたん」は、主にお正月の縁起物として、人気が高い花の一つです。

今年は台風21号・22号の影響が心配されましたが、生育も良好で見事な出来栄えのものが多く揃っています。

今年の出荷は、京阪神を中心に、約2万本の出荷が予定されています。



**省力
低コスト**

とれ太郎

保証成分(%)				含有成分(%)	とれ太郎の施用量 4~5袋 / 10a
<溶性りん酸	<溶性苦土	可溶性けい酸	アルカリ分	鉄分	
6.0	12.0	30.0	40.0	3.0	

とれ太郎:けい酸の吸収率が高い省力型土づくり肥料

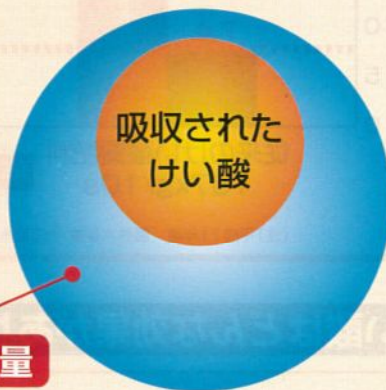
「とれ太郎」の「けい酸」は効きが違います。

**とれ太郎
けい酸の
吸収率が高い!!**



施肥されたけい酸全量

**従来の
けい酸質肥料**



**とれ太郎は
吸収率が高く、
施肥量が
少なくて
すむから
散布がラク
になるし、
低コストに
なるヨ!**



荷姿:20kg入り
樹脂袋……粒状



とれ太郎の効果

倒伏軽減

品質向上・安定多収



- ☆品質が向上し、収量が安定します。
- ☆登熟が向上し、粒太りがよくなります。
- ☆茎や葉を丈夫にするので、倒伏や病害虫に強くなります。
- ☆いきいきした活力の高い根を作ります。
- ☆根張りがよくなります。



JAグループ

全農

製造 日之出化学工業株式会社